

担い手の経営のライフステージに応じた支援

商系と連携した農産物の販路拡大
JAさいかつ (埼玉県)

新規	継続
○	(平成 年月)

1 動機(経緯)	平成 28 年度より、生産者の未利用農産物(直売所売れ残り等)の削減に向けた地元商系との連携および移動販売車を導入し、販路拡大に努めています。平成 29 年度は、農業者のさらなる農業所得向上に貢献するため、当 J A 管内の飲食店と地場産農産物の取引開始しました。
2 概要	直売所に出荷された農産物の売残りを少なくするため、地元商系(イオンレイクタウン店、イオン吉川美南店、ドン・キホーテ三郷店、ベルク戸ヶ崎店 I K E A 新三郷店)と連携し地場産コーナーを設置しました。なかなか直売所まで来られない方々のために地場産農産物を積み、職員による移動販売を実施しました。また、当 J A 管内の居酒屋・中華料理店・ビジネスホテルへ地場産農産物の利用に向けた依頼を行い定期的な取引を開始しました。
3 成果(効果)	農業者の所得増大や生産意欲の向上、消費者へ新鮮な地場農産物を P R することができました。
4 今後の予定	地場産農産物の販路拡大のため、さらなる地元商系との取引拡大に努めます。